

## 武雄の蘭学、日本を動かす

Episode 10

### 明治維新150周年 近代科学の先進地、武雄

長崎に近く、長崎警備により西洋の文化に触れるチャンスが多かった佐賀藩。その中でも、なぜ武雄が近代科学の先進地となったのでしょうか。

まずは、何といたっても武雄領主鍋島茂義の存在でしょう。茂義は好奇心旺盛で興味の幅が広く、先頭を切って蘭学の導入を積極的に行いました。さらに、武雄では西洋からの文物をただ集めるだけにとどまりませんでした。集めたものを研究して、実際にやってみるというのも武雄の特徴です。こうして、武雄は一大蘭学の地となっていたのです。

武雄による蘭学の実績は、佐賀藩に大きな影響を与えました。藩主直正の義兄であった茂義は、佐賀藩の砲術指南役や蒸気船製造の責任者に就任。武雄の家臣たちもその指導にあたりました。佐賀藩は、幕末を代表する雄藩の一つとして、歴史の表舞台に登場します。その裏には、武雄の人々の活躍がありました。まさに武雄の蘭学が日本を動かしたのです。



▲国重要文化財「オルゴール時計」  
(武雄鍋島家資料 武雄市)

西洋からの輸入品だが、日本の不定時法（1日の時間が季節によって変わる）に合わせて時計の文字盤が改造されている。武雄では海外からの品を手に入れるだけでなく、日本で受け入れやすいような工夫もしていたのである。



▲国重要文化財「ガラス器具」  
(武雄鍋島家資料 武雄市)

武雄の儒学者の日記から、1836年ごろには武雄でガラスの製造が行われていたようだ。武雄で盛んに行われていた理化学実験に用いられたと考えられる。



▲国重要文化財「蘭引」  
(武雄鍋島家資料 武雄市)

液体を蒸留するための道具。武雄の三ノ丸窯でつくられたと考えられる。武雄では、当時の最新の理化学器具を自分たちでつくって使用していたのだろう。

有料広告

あけましておめでとうございます。  
お陰様でケーブルワンは皆様に支えられ  
40周年を迎える事ができました。  
今年も地域密着サポートで安心も届けます。

# Cable One

ケーブルテレビ

ケーブルインターネット

ケーブルプラス電話

ケーブルプラスでんこ

ケーブルスマホ

株式会社ケーブルワン

武雄本社  
【武雄エリア】

0120-80-7511

白石営業所  
【特島エリア】

0120-12-4614

<http://www.cableone.ne.jp>  
[info@cableone.ne.jp](mailto:info@cableone.ne.jp)

ケーブルワン